

# 貸 借 対 照 表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>29,743,349</b>	<b>流動負債</b>	<b>21,865,367</b>
現金及び預金	2,641,343	買掛金	18,989
売掛金	1,563,771	一年内返済予定の 関係会社長期借入金	4,300,000
商品	125,511	リース債務	1,532,388
貯蔵品	109,463	未払金	6,088,043
販売用不動産	3,470,947	未払費用	138,618
貸貸資産仮勘定	9,229,521	未払消費税	68,883
関係会社預け金	7,011,989	未払法人税等	1,407,096
前払費用	5,170,356	前受金	5,427,410
その他	420,979	預り金	579,683
貸倒引当金	△534	資産除去債務	340,053
<b>固定資産</b>	<b>162,078,760</b>	役員賞与引当金	32,705
<b>有形固定資産</b>	<b>81,225,529</b>	賞与引当金	762,627
建物	33,363,413	ポイント引当金	1,163,106
構築物	2,873,335	その他	5,760
工具器具備品	557,731	<b>固定負債</b>	<b>119,342,441</b>
土地	18,112,175	関係会社長期借入金	1,000,000
リース資産	25,705,573	長期リース債務	27,851,239
建設仮勘定	613,301	長期預り敷金	29,724,544
<b>無形固定資産</b>	<b>782,392</b>	預り保証金	41,828,497
借地権	638,066	長期前受収益	5,043,243
ソフトウェア	141,132	資産除去債務	11,868,836
電話加入権	3,192	リース資産減損勘定	1,179,277
<b>投資その他の資産</b>	<b>80,070,838</b>	退職給付引当金	846,802
関係会社株式	9,000	<b>負債合計</b>	<b>141,207,808</b>
敷金	35,231,347	<b>(純資産の部)</b>	
差入保証金	31,168,899	<b>株主資本</b>	<b>50,614,301</b>
長期前払費用	8,983,787	資本金	500,000
繰延税金資産	4,668,040	利益剰余金	50,114,301
その他	23,081	利益準備金	125,000
貸倒引当金	△13,318	その他利益剰余金	49,989,301
		別途積立金	41,030,000
		繰越利益剰余金	8,959,301
<b>資産合計</b>	<b>191,822,109</b>	<b>純資産合計</b>	<b>50,614,301</b>
		<b>負債及び純資産合計</b>	<b>191,822,109</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	96,538,273
売 上 原 価	78,635,279
売 上 総 利 益	<b>17,902,993</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,786,132
営 業 利 益	<b>14,116,860</b>
営 業 外 収 益	
受 取 利 息 及 び 配 当 金	268,798
違 約 金 収 入	960,853
そ の 他 営 業 外 収 益	1,111,568
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	1,690,111
営 業 外 租 税	4,960
違 約 金 支 出	253,551
そ の 他 営 業 外 費 用	612,963
経 常 利 益	<b>13,896,494</b>
特 別 利 益	
固 定 資 産 売 却 益	14,482
特 別 損 失	
固 定 資 産 除 却 損	716,566
減 損 損 失	274,970
そ の 他 特 別 損 失	1,110
税 引 前 当 期 純 利 益	<b>12,918,328</b>
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	3,787,657
法 人 税 等 調 整 額	171,626
当 期 純 利 益	<b>8,959,045</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株 主 資 本						純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金				株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
			別途積立金	繰越利益剰余金			
2019年4月1日残高	500,000	125,000	34,112,000	9,882,903	44,119,903	44,619,903	44,619,903
事業年度中の変動額							
別途積立金の積立			6,918,000	△6,918,000	—	—	—
剰余金の配当				△2,964,648	△2,964,648	△2,964,648	△2,964,648
当期純利益				8,959,045	8,959,045	8,959,045	8,959,045
事業年度中の変動額合計	—	—	6,918,000	△923,602	5,994,397	5,994,397	5,994,397
2020年3月31日残高	500,000	125,000	41,030,000	8,959,301	50,114,301	50,614,301	50,614,301

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 個 別 注 記 表

## 【 重要な会計方針に係る事項に関する注記 】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式…移動平均法による原価法を採用しております。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品…売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

貯蔵品…総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

販売用不動産…個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 19 ～ 34 年

構築物 10 ～ 35 年

工具器具備品 2 ～ 20 年

#### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。借地権は、主に20年に償却しております。

#### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

#### (4) 長期前払費用

定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

売掛金等の債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率等に基づき、貸倒懸念債権等については、個別に債権の回収可能性を勘案して回収不能見込額を計上しております。

#### (2) 役員賞与引当金

役員の賞与給付に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度に対応する金額を計上しております。

#### (3) 賞与引当金

従業員の賞与給付に充てるため、支給見込額のうち、当事業年度に対応する金額を計上しております。

#### (4) ポイント引当金

将来のポイント使用に備える為、未使用のポイント残高に対して、過去の使用実績から将来使用されると見込まれる金額に基づき計上しております。

#### (5) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

##### ① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

なお、退職一時金制度については、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異及び過去勤務費用は、発生した事業年度に一括処理しております。

4. 消費税等の会計処理の方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

【 貸借対照表に関する注記 】

1. 有形固定資産の減価償却累計額	36,944,520 千円
2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務（区分表示したものを除く）	
短期金銭債権	534 千円
長期金銭債権	604,487
短期金銭債務	4,361,352
長期金銭債務	2,616,397

【 損益計算書に関する注記 】

1. 関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	26,185 千円
仕入高	885,895
資産購入高	2,883,803
その他	145,423
営業取引以外の取引による取引高	
受取利息	912
支払利息	327,470
その他	1,092,565

【 株主資本等変動計算書に関する注記 】

1. 発行済株式の種類及び総数

発行済株式の種類	株式総数
普通株式	12,000 株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月31日 定時株主総会	普通株式	2,964,648	247,054.00	2019年3月31日	2019年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2020年5月31日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

- (イ) 配当金の総額 . . . . . 2,687,724 千円
- (ロ) 1株当たり配当額 . . . . . 223,977.00 円
- (ハ) 基準日 . . . . . 2020年3月31日
- (ニ) 効力発生日 . . . . . 2020年6月30日

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しております。

**【 税効果会計に関する注記 】**

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰 延 税 金 資 産		
賞 与 引 当 金	233,516	千円
未 払 事 業 税	80,249	
資 産 除 去 債 務	3,738,362	
ポ イ ン ト 引 当 金	356,143	
退 職 給 付 引 当 金	259,290	
固 定 資 産 償 却 超 過 額	1,040,680	
リ ー ス 資 産 減 損 勘 定	361,094	
借 地 権 償 却 超 過 額	186,679	
建 設 協 力 金 ( 時 価 会 計 )	287,258	
そ の 他	184,858	
小 計	6,728,135	
評 価 性 引 当 額	△14,076	
繰 延 税 金 資 産 合 計	6,714,058	
繰 延 税 金 負 債		
資 産 除 去 債 務 に 対 応 す る 資 産	2,046,017	
繰 延 税 金 負 債 合 計	2,046,017	
繰 延 税 金 資 産 の 純 額	4,668,040	

**【リースにより使用する固定資産に関する注記】**

貸借対照表に計上した固定資産のほか、不動産、コンピュータシステム、事務機器等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

## 【金融商品に関する注記】

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、親会社からの借入により資金を調達しております。売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。借入金の用途は設備投資資金（長期）であります。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 現金及び預金	2,641,343	2,641,343	—
(2) 売掛金 貸倒引当金（※）	1,563,771 △534		
	1,563,237	1,563,237	—
(3) 関係会社預け金	7,011,989	7,011,989	—
(4) 敷金	35,231,347	34,673,034	△558,313
(5) 差入保証金	31,168,899	31,150,515	△18,383
資産計	77,616,817	77,040,120	△576,697
(1) 買掛金	18,989	18,989	—
(2) 一年内返済予定の 関係会社長期借入金	4,300,000	4,300,000	—
(3) リース債務	1,532,388	1,532,388	—
(4) 未払金	6,088,043	6,088,043	—
(5) 未払法人税等	1,407,096	1,407,096	—
(6) 関係会社長期借入金	1,000,000	1,000,000	—
(7) 長期リース債務	27,851,239	27,491,398	△359,841
(8) 長期預り敷金	29,724,544	28,246,750	△1,477,793
(9) 預り保証金	41,828,497	41,736,200	△92,297
負債計	113,750,799	111,820,867	△1,929,931

（※）売掛金に係る貸倒引当金を控除しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### 資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金並びに(3) 関係会社預け金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 敷金並びに(5) 差入保証金

これらの時価は、一定の期間ごとに区分した債権ごとに債権額を満期までの期間及び信用リスクを加味した利率により割り引いた現在価値によっております。

#### 負 債

(1) 買掛金、(2) 一年内返済予定の関係会社長期借入金、(3) リース債務、(4) 未払金並びに(5) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6) 関係会社長期借入金

関係会社長期借入金のうち、変動金利によるものの時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。また、固定金利のものについては、元利金の合計額を借入期間に応じた利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(7) 長期リース債務、(8) 長期預り敷金並びに(9) 預り保証金

これらの時価は、一定の期間ごとに区分した債務ごとに債務額を返済までの期間に応じた利率により割り引いた現在価値によっております。

（注2）関係会社株式（貸借対照表計上額9,000千円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上表には含めておりません。

## 【 賃貸等不動産に関する注記 】

### 1. 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社は、東京都その他の地域において、賃貸用の商業施設（土地を含む）、オフィスビルを有しております。

### 2. 賃貸等不動産の時価に関する事項 (単位：千円)

貸借対照表計上額	時 価
26,005,489	29,431,429

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

(注2) 当事業年度末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づく金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であります。

## 【 関連当事者との取引に関する注記 】

### 1. 親会社及び法人主要株主等

(単位：千円)

種 類	会 社 等 の 名 称	議 決 権 の 所 有 (被所有)割合	関 連 当 事 者 と の 関 係	取 引 の 内 容	取 引 金 額	科 目	期 末 残 高
親会社	大和ハウ ス工業(株)	被所有 直接 100.0%	商業施設等 の賃貸借 資金の援助 役員の兼任	商業施設等 の賃貸借等	1,000,844	前払費用 敷金 未払金	56,835 602,980 4,110,430
				固定資産の 取得	2,883,803	未払金	181,436
				リース債務 の返済	63,334	リース債務	67,408
				利息の支払	207,879	長期リース債務	2,599,723
				預け金利息 の受取	912	関係会社預け金	7,011,989
				借入金の 返済	3,000,000	一年内返済予定の 関係会社長期借入金	4,300,000
借入金利息 の支払	119,591	関係会社長期借 入金	1,000,000				

### 2. 兄弟会社等

(単位：千円)

種 類	会 社 等 の 名 称	議 決 権 の 所 有 (被所有)割合	関 連 当 事 者 と の 関 係	取 引 の 内 容	取 引 金 額	科 目	期 末 残 高
親会社 の子会 社	株式会 社 フジタ	なし	商業施設等 の賃貸借等	リース債務 の返済 利息の支払	57,215 490,346	リース債務 長期リース債務	59,232 5,256,816

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

取引価格等については、一般的取引条件などを勘案して決定しております。

取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

## 【 1株当たり情報に関する注記 】

1株当たり純資産額	4,217,858 円	44 銭
1株当たり当期純利益	746,587 円	12 銭

## 【 その他の注記 】

### 追加情報

当社は、現状、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発せられたこと及び対象都道府県の外出自粛要請を受け、ホテルの一時休業等を行うことにより、売上高が大きく減少するなど業績に影響が生じています。

当社では、政府の需要喚起策や諸外国の状況、国際機関の発表等を踏まえ、会計上の見積りに当たり、この状況が半年間程度は継続するものの、その後年度末に向けて徐々に需要が前年並みまで回復していくものと仮定しております。

その上で、この仮定をホテル事業部の固定資産の減損の検討に適用しております。

なお、当事業年度の計算書類作成時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積りを行っていますが、今後の実際の推移がこの仮定と乖離する場合には、当社の財政状態、経営成績に影響を与える可能性があります。